



2025年9月25日 第180号
NPO 法人町田市学童保育クラブの会
所在地 町田市中町 1-19-5
大貫ビル 202
電話 042-794-7235
広報担当 発行

インターンシップ生に聞きました

～学童保育の現場で見つけた、子どもたちとのかけがえのない時間～

当法人では、社会貢献の取り組みとして、玉川大学からのインターンシップ生を受け入れています。学童保育の現場での実践を通じて、子どもとの関わり方や支援のあり方を学べる場を提供しています。今回は、インターンシップ生の皆さんに、活動を通して感じたことや印象に残ったエピソードを伺いました。

1. 子どもとの関わりの中で、特に印象に残っているエピソード
2. 今回のインターンシップ経験をどう活かしていきたいか



1. 高学年居場所事業『ロケットキッズ』に参加した際に、子どもたちが自分で作ったピザをおいしそうに食べている姿が印象的でした。顔型のピザや一口サイズの食べやすいピザなど個性様々で、チーズを伸ばしながら笑顔で食べている様子を見て、こちらも嬉しくなったのを覚えています。
2. 初めての団体引率で、学んだ安全や時間管理の大切さを、今後の教育現場でしっかり活かしていきたいです。子どもの笑顔の裏には大人の支えがあることを忘れず、経験を重ねて成長していきたいと思います。

教育学部 教育学科 初等教育専攻 2年 田中 悠希

1. 子ども達に「大学で体育の先生になるための勉強をしているよ」と言うと、外遊びの際に「走り方教えて！」や「鉄棒教えて！」など声をかけてくれたことが印象に残っています。子ども達の役に立てて嬉しい気持ちになりました。
2. 子ども達の行動には、何かしらの意味があることを学べたので、子ども達が伝えたいことを察知する能力を磨いて学校教育に活かしたいと思います。そして、広い視野をもって子どもと関わることを教師になっても、忘れないでいようと思います。

教育学部 教育学科 保健体育専攻 2年 川島 隆正



目次

- 1 面: インターンシップ生に聞きました
- 2 面: 防災について
- 3 面: 放課後児童クラブ運営指針改正について
- 4 面: 連載企画『12 クラブのあそび大集合!』

正会員・賛助会員募集

会員を募集しております。当法人にご賛同いただける方は、法人事務局までご連絡ください。

個人正会員 一口 3000 円以上

個人賛助会員 一口 1000 円

問い合わせ先 : 042-794-7235 (法人事務局)

今後の予定

ぶちくれよんひろば(子育て支援事業) 日程

9月	開放	10日、17日
企画		24日
10月	開放	15日、22日
企画		29日
11月	開放	12日
企画		29日



防災について

当法人では毎年度安全計画を作成し、災害に備えています。各学童保育クラブの支援員より保護者の皆様に説明をする機会を設け、安全対策の充実に努めています。

内容として、以下の項目に重点を置き取り組みを進めています。

1. 安全点検（毎月の施設・設備の安全点検等）
2. 児童・保護者に対する安全指導等（学期ごとの児童への安全教育等）
3. 訓練・研修（毎月の避難訓練、その他の訓練）
4. 再発防止策の徹底

～防災・不審者対応～

●火災事故防止●…全クラブに防火管理者を配置し、消防計画をもとに適切な訓練を行います。また、火災防止のためチェックリストを活用し点検を行います。

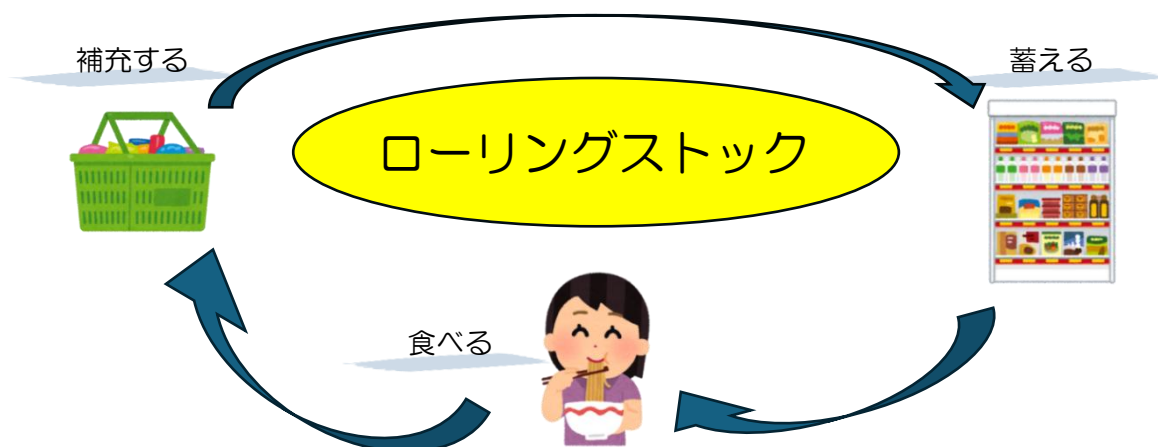
●児童・職員の訓練●…『町田市学童保育クラブ防災・不審者対応マニュアル』に基づき、自然災害時や不審者対応等の避難訓練を毎月行っています。また、職員教育として警察署、消防署職員による訓練をそれぞれ年1回実施しています。町田市の土砂災害・洪水ハザードマップで危険個所となっている学童保育クラブ（大蔵・大戸のびっ子・金井・成瀬中央あおぞら・南大谷・わんぱく）は、年に1回訓練を実施しています。『放課後子ども教室（まちとも）』を運営する運営協議会との合同避難訓練（地震・不審者等）も企画提案し実施しています。

下記に、皆さんにもすぐに始められる防災について紹介します。ぜひ試してみてください。

今日からできるローリングストックの始め方

皆さんは災害に備えて食品の備蓄をしていますか？大きな災害が起きると物流が止まり、スーパーやコンビニでも食品が手に入りにくくなることも。そんな時に困らなくていいように、食品の備蓄を始めましょう。まずは普段食べているカップ麺や缶詰、インスタント味噌汁などを多めに買い置きし、賞味期限の古いものから消費し、食べたならその分を買い足すだけです。

蓄える→食べる→補充する を繰り返しながら常に一定量の食品を備蓄します。



災害後はライフラインが停止する可能性があります。水とカセットコンロなどの熱源は必需品です。お湯を沸かすことで、温かいレトルト食品やカップ麺などを食べられます。温かい食事は身体も温まり、緊張感や不安も和らげてくれます。

参考資料：あしたの暮らしをわかりやすく 政府広報オンライン

『放課後児童クラブ運営指針』が改正されました

2023年に『こどもまんなか社会』の実現にむけて、こども家庭庁が発足しました。これに伴い、放課後児童クラブ（学童保育クラブ）は厚生労働省からこども家庭庁へと移管されました。

同時に『こども基本法』が施行され、同年12月に閣議決定された『こどもの居場所づくりに関する指針』、関係法令等の改正や近年の放課後児童クラブを取り巻く動向を踏まえて、2025年4月『放課後児童クラブ運営指針』の改正が行われました。なかでも、『こども基本法』に基づいた子どもの権利に関する記述が大幅に加わり明確化されました。

子どもが自身の気持ちや意見を表現することが尊重され、自分たちにとって大切なことを大人と一緒に話し合いながら決めていけるよう整えていくことが盛り込まれています。

●子どもの権利に関して記述が充実されたポイント

- ・放課後児童クラブに通うこどもが遊びや生活の中で、自身の権利を理解できるような環境や機会を設ける
- ・放課後児童クラブは、自ら進んでこどもの権利について学習を行った上で育成支援を行う
- ・運営主体はこどもの権利に関する学習の機会を保障することに努める
- ・こどもが気持ちや意見を表現できるようにし、それを受け止める体制を整える
- ・こどもの権利が侵害される事案が発生した場合の対応方法について定め、こどもに周知しておき、事案発生時には適切に対応をする

※今回の改正で「子ども」の表記は「こども」に統一されました。

『放課後児童クラブ運営指針』は、学童保育クラブの運営者や支援員だけでなく、保護者や学校・地域などの広く子どもに携わる大人たちへ伝え活用されることを期待して作成されていますので、子どもたちの権利を守り、子どもの最善の利益を保障していくためにも、今回の改正は大きな意味を持ったものとなっています。関心のある方は、こども家庭庁ホームページをご覧ください。

参考資料：放課後児童クラブ運営指針（令和7年4月） こども家庭庁

新任職員紹介

7月に入職した正規職員をご紹介します。



つくし野学童保育クラブ
やつなみ かいと
八並 海斗

①マイブームは？ ②好きなあそび・得意なあそび ③意気込み

①けん玉

②バドミントン

③運動することが好きなので、子どもたちと同じ目線で遊びながらも、丁寧な関わりをしていきたいと思っています。



12 クラブのあそび大集合！！



今年度の連載企画は『12 クラブのあそび大集合！』と題して子どもたちのあそびの様子を紹介していきます。今、学童保育クラブで流行っているあそび（室内あそび・外あそびの様子等）を取り上げ、写真や文章を通して知っていただければと思います。また、支援員の子どもの頃好きだったあそびについても紹介します。

なかよし学童保育クラブ

今年の夏休みは連日の猛暑により、外あそびに行くことができなかったため、体育館でドッジボールをしました。まず、チーム分けを行い、皆で協力して1年生から順番に1列に並んで、2チームに分かれます。ドッジボールをあまりしたことがない下級生に、同じチームの上級生が「取っていいよ。」「投げていいよ。」と声をかけてボールをパスする姿が見られ、異学年の交流が深まりました。ドッジボールはこれまで、誕生日会や交流会のレクリエーションで行っていましたが、この夏休み中に継続して行うことで、ルールを理解し、友だちと協力する大切さにも気がきました。



大戸のびっ子学童保育クラブ



夏休み中は、ドミノ倒しに夢中になっていました。室内あそびの時間や食休みに、ゆっくり時間をかけて、室内いっぱいに長いコースを作っていました。ドミノや積み木だけでなく、途中でビー玉を転がすコースを作り、倒れたドミノによって動いたビー玉が次のドミノを倒すという仕掛けも作っていました。高学年の子どもたちが協力し合って複雑なコースを作る姿を見て、低学年の子どもたちもビー玉を転がすコースなどを作っていました。ビー玉がスタートからゴールまで止まらずに行けるように、コースの高さや長さを調節したり、何度もビー玉を転がして試したりしていました。



支援員の子どもの頃好きだったあそび紹介

私が子どもの頃は、仲間たちで名付けた当時流行したキャラクターの名前の秘密基地に、放課後集合して遊んでいました。どんぐりの木が5本茂っている場所で、お気に入りの木を自分のハウスにし、泥だんごづくりや木の実や雑草を集め、食べ物屋さんごっこやお家ごっこなど様々なごっこあそびをしました。体をいっぱい動かし、日が沈むまで楽しみました。近くの家の明かりが灯ると「また明日あそぼうね～」と家へ帰ります。今でもその時の光景は忘れない楽しいあそびの思い出です。